

基本料金の設定根拠

【目標設定】

使用料収入 (税抜)	R 5 決算	改定後目標	増加率
	685,459,143円	822,550,972円	120.0%

	料金収入	割合	
改定後目標	822,550,972円	100.00%	
うち基本料金	287,892,840円	35.00%	←経費の配賦結果、現在の基本料金割合から決定
うち従量料金	534,658,132円	65.00%	

↓ 基本料金部分を口径別に均等配分する

口径	件数／年	割合	口径	料金収入	基本料金	
13mm	111,025	69.65%	13mm	200,528,891	1,806	1,800円を基準として 口径別に傾斜配分する
20mm	39,720	24.92%	20mm	71,740,667	1,806	
25mm	3,090	1.94%	25mm	5,581,034	1,806	
30mm	986	0.62%	30mm	1,780,874	1,806	
40mm	3,127	1.96%	40mm	5,647,862	1,806	
50mm	1,057	0.66%	50mm	1,909,111	1,806	
75mm	366	0.23%	75mm	661,054	1,806	
100mm	24	0.02%	100mm	43,348	1,806	
合計	159,395	100.00%	合計	287,892,840		

口径別の傾斜配分根拠資料（φ13を基準にした場合）（単位：円）

口径	購入金差額	検漏取替直工差額	差額合計	合計/8年/12ヶ月	採用差額
φ 13mm	0	0	0	0.00	± 0
φ 20mm	470	759	1,229	12.80	± 0
φ 25mm	970	2,037	3,007	31.32	+30
φ 30mm	5,870	3,814	9,684	100.88	+100
φ 40mm	7,370	5,094	12,464	129.83	+130
φ 50mm	29,870	6,739	36,609	381.34	+380
φ 75mm	40,570	9,105	49,675	517.45	+520
φ 100mm	55,270	10,506	65,776	685.17	+690

【検討結果】 φ13・φ20は基準額の1,800円とし、他の口径には上記の差額分を加算する

口径	改定前(簡水)	改定後	改定率
φ 13mm	1,650	1,800	109.09%
φ 20mm	1,660	1,800	108.43%
φ 25mm	1,670	1,830	109.58%
φ 30mm	1,710	1,900	111.11%
φ 40mm	1,730	1,930	111.56%
φ 50mm	1,860	2,180	117.20%
φ 75mm	2,210	2,320	104.98%
φ 100mm	2,420	2,490	102.89%

【結果】

基本料金収入割合を35%まで持って行くことができ、かつ改定前(簡水)の基本料金と比較すると、どの口径でも負担増となり不公平感をなくすることができる

基本料金収入	288,117,350	100.08%	目標達成
--------	-------------	---------	------

従量料金の設定根拠

【目標設定】

使用料収入 (税抜)	R5 決算	改定後目標	増加率
	685,459,143円	822,550,972円	120.0%

	料金収入	割合	
改定後目標	822,550,972円	100.00%	
うち基本料金	287,892,840円	35.00%	←経費の配賦結果、現在の基本料金割合から決定
うち従量料金	534,658,132円	65.00%	

【現行の従量料金（1㎡あたり）】

（上水区域）

使用水量	口径20mm以下	口径25mm以上
1～5㎡	0円	0円
6～10㎡		
11～30㎡	160円	170円
31～50㎡	170円	180円
51～100㎡		
101㎡～	180円	190円

（簡水区域）

使用水量	口径20mm以下	口径25mm以上
1～5㎡	0円	0円
6～10㎡		
11～30㎡	170円	180円
31～50㎡	180円	190円
51～100㎡		
101㎡～	190円	200円

↑
高額な単価を基準に考える

【条件設定】

- φ13・20mm使用者の10㎡使用料が2,000円程度になるよう設定
↑ 現行の旧簡水φ20mmの10㎡使用料1,660円（税抜）に対して改定率20%
- 11㎡以上の平均単価が205円以上になるよう設定
↑ R5決算ベースの給水原価203.80円が今後も悪化することを想定
- 現行よりも通増度を上げる（現行の最大：1.125倍）
↑ 小口使用者に対しては基本料金で負担増、大口使用者に対しては従量料金で負担増とする

【検討結果】

使用水量	改定前	改定後	改定率
1～5㎡	0円	0円	-
6～10㎡		30円	-
11～30㎡	180円	180円	100.0%
31～50㎡	190円	200円	105.3%
51～100㎡		210円	110.5%
101㎡～	200円	240円	120.0%

- φ13・20mm使用者の10㎡使用料は1,950円（税抜）
- 11㎡以上の平均単価は207.5円
- 6～10㎡を除いた通増度は1.333倍に拡大



従量料金収入	540,003,110	101.00%	目標達成
--------	-------------	---------	------

【新料金体系（案）】

基本料金	13mm	1,800
	20mm	1,800
	25mm	1,830
	30mm	1,900
	40mm	1,930
	50mm	2,180
	75mm	2,320
	100mm	2,490

従量料金	1～5㎡	0
	6～10㎡	30
	11～30㎡	180
	31～50㎡	200
	51～100㎡	210
	101㎡～	240

基本料金収入	288,117,350
--------	-------------

34.79%

従量料金収入	540,003,110
--------	-------------

65.21%



料金収入合計	828,120,460
--------	-------------